

大切なお母さん

岩手県 北上市立江釣子小学校 六年

八重樫侑月やえがし ゆづき

わたしのお母さんは仕事でいつも帰りがおそい

あまりにも帰りがおそい日があつた

わたしはとつくに寝ていた

次の日の朝 お母さんが

「おなかすいたなあ」と言っていた

お母さんは夜ご飯を食べていなかった

わたしは

「これじゃお母さんが病気になるてしまう」

と思った。

なのでわたしは夜おにぎりを 作った

お母さんは 今日も 帰りがおそかった

次の日の朝 お母さんが笑顔で

「おはよう」と言った。

わたしも

「おはよう」と返した。

するとお母さんが

「ありがとう おいしかったよ」と言ってくれた

わたしは すぐうれしくなった

今は帰りが おそくないけれど

もし帰りがおそくなつたとき

もし帰りがおそくなるとき

わたしは おにぎりを作る